

9月8日(水)

本年度第9回(通算2555回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『あなたにできる国際奉仕』 担当/国際奉仕委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

・チョブジョ アマルト プシンさん (米山奨学生)

☆メイクアップ

☆出席報告【会員総数68名 免除13名 出席計算に用いた会員数68名】

前前回の出席報告 8/25 出席及びメーキャップ数50名 出席率 73.5%

☆ニコニコ献金 (今年度累計 195,000円)

- |                                 |        |
|---------------------------------|--------|
| ・〈本日のDVDは泣かせます。結婚記念日ありがとうございます〉 | 三原克也君  |
| ・〈萩原委員長、今日は宜しく願います〉             | 泰地浩幸君  |
| ・〈担当例会です。宜しく願います〉               | 萩原昭博君  |
| ・〈結婚記念日、よくぞ37年もたったかな〉           | 中嶋嘉昭君  |
| ・〈結婚記念日お花ありがとうございます〉            | 高橋 貢君  |
| ・〈入会してあー14年〉                    | 森山義文君  |
| ・〈入会6年、新入会員も花嫁も凶暴に変わる頃です。ごめんね〉  | 川尻道子さん |
| ・〈入会と誕生日ありがとうございます〉             | 徳山淳一君  |

☆会長挨拶

皆さんこんにちは。一昨日、第3回目の第七分区会長幹事会が開催され、今年度のIMは、第七分区単独で開催をすることとなりました。

ガバナー補佐を輩出しております釧路西RCがホストクラブとなり、音別RC、白糖RCにお手伝いを頂きながら来年3月の開催に向け準備が進められます。これは、柴田ガバナーの地区活動の基本方針の中で話されておりますが、大きなクラブが小さなクラブに思いやりを持って共に行動することで、分区内のクラブ同士の繋がりを深めて行こうと云うことと同時に、分区が1つのクラブという考えで、会員全員で成功させようというものです。

ロータリアンとして何が出来るのか、また何をすべきなのかといった問題意識を高揚させるIMでありたいと思います。あと半年後です。皆様の御協力をお願い致します。

また、足立パストガバナーにも出席いただきまして、RI国際ロータリー、規定審議会決議23-34について等、約1時間弱ご講演をいただきました。お疲れのところ本当にありがとうございました。

☆幹事報告

- ①釧路東RCよりプログラムのご案内が届いております。回覧致しましたのでご覧ください。
- ②釧路MICEセミナー釧路東RCよりプログラムのご案内が届いております。回覧致しましたのでご覧ください。



☆国際奉仕委員会 委員長 萩原昭博君

本日は国際奉仕担当の例会でございます、今年度は二回の例会を組んでいただきました。中嶋年度は今年2月に足立パストガバナーにお願いいたしまして、国際奉仕について、講演いただきました。その中で人道的プログラム、教育的プログラム、そしてポリオプラスは、財団のプログラムで国際奉仕ではないですよとっております、3H補助金、地区補助金、国際親善奨学金、世界平和フェロー、GSE、グループ交換、これらは全部財団の補助金プログラムであり国際奉仕に当たらない、なかなか国際奉仕を理解するには難しいもので、下期の担当例会の時に会長、幹事と打ち合わせしながら、国際奉仕について例会をもちたいと思っております。今日は、あなたにできる国際奉仕と言うことで今年度会長、幹事をお願いいたしまして、できるだけ早い時期に例会を組んでいただきたい旨、年度当初お願いをいたしました、何故かと申しますと、今年度2回の協議会の中でもお話いたしました、4月の地区協議会において、地区国際奉仕委員会の活動計画は2500地区内にて、開発発展途上国識字率向上のため、又飢餓救済の為の募金活動を行いますと言う事であり、皆さま御存じのように、年度当初から、募金箱が設置されております、先週まで、10303円募金が集まっております、ご協力有難うございます。この、飢餓問題を皆さまはどう感じておられますか、4秒1人、毎年1500万人の人々が餓死しております、今なお、世界に

は年間8億5千200万人の人々が飢えに苦しみ、内3億人は15歳未満の子どもたちであります。1億人の子供たちは学校にも通えません。字が読めない、書けない、計算ができない、水浴をすると湿疹がでるような水を飲み基本的に教育を受けていない親は、働く場所もなく社会的経済的に排除され、子供を教育することもできない。又幼いうちに家を出された子供たちは、ストリートチルドレンとなって、テレビでも放映されたようにゴミの山で飢えをしのぎ、犯罪に走り、疾病や栄養状態の劣悪の中、命を落としている状況であります。国際社会の一員として、今、なにができるか、何をすべきか、15分のDVDをご覧になり考えていただければ幸いです。



皆さまDVDをご覧になり何を感じられましたか、解説されてた、神田英輔さんは九州出身の方で横浜国立経済学部を卒業され、日本国際飢餓対策機構、総主事として働きを開始以来28年間アジア、アフリカ、中南米など約70カ国で、飢餓や貧困に苦しむ方々の自助努力を支援する活動に従事してきました、今年3月に定年退職されております。

このように現在行われている活動を見ても私たちが比較的簡単に参加できること、たとえば、街中で見かけたWF Pの募金箱に募金することで食糧援助に参加してることになります又、例会場に設置されてる募金箱もしかりです、その気持ちを全世界の一人一人が持ったとしたならば、飢餓問題は解決できるのではないのでしょうか。募金箱は5月30日まで設置します、ポケットの中の小銭で結構です、よろしくご協力のほどお願いいたします。